

弁護士の先生の話聞く会「いじめについて」

6 月 1 9 日（水）に弁護士の先生の話聞く会を行いました。弁護士という仕事について紹介があった後、いじめについての講話を聞きました。

人はだれもが「人権」という権利をもっていること、いじめはその人の「安心」「自信」「自由」をうばってしまう行為であるなどの話がありました。最後に「許されるいじめはない」という話があり、弁護士の先生の話真剣に聞いてしっかりと考えることができていました。

いじめについての授業の感想

私は今まで、いじめられる人にも悪いところがあると思っていましたが、許されるいじめはないと聞き、私が今まで考えていたことはその人の個性や人間性を否定することになるんだなと思え考えが変わりました。

心のコップに水をためない・ためさせない人でいたい。もしだれかがつらい思いをしているのなら、そばで支えてあげたい。

みんなが見ているだけ（しずかちゃん）になっていると分かってみんな自分がいじめられるのが怖いんだろうと思いました。

ゆるされるいじめはなく、やった側の理由（やった理由）は単なる言い訳にすぎないと聞いて、やった側の人はなんだかカッコ悪いと思った。その人に対してイライラしたりしていても、いじめという方法ではないもので解決することが、難しいことなのかもしれないけど大切だと思う。

どんな理由があってもいじめは許されないし「いじめる権利」もない。いじめは人権がおびやかされる危険性があることがわかった。

いじめをもし見てもただ見ているだけの人にならないようにしたいです。いじめている人には、何も言えないかもしれないけれど、いじめられている側の人に手を差し伸べてあげられるようにしたいです。

いじめは絶対にしない。いじめをされている人がいたら自分がその人を支える。

“合わない人”や“苦手な人”もいると思うけれど、自分がいじめる側にならないように、その人の「良いところ」を探すようにしたいです。

「いじめだ」と加害者が意識していないところから大きないじめに発展していた。少しのことでもたまると大きなことになってしまう。相手がどう思うか考えて行動したい。

「やっちゃいけない」と思っている、人はどうしてもやってしまう生き物だと思いました。この授業を通して、いじめが減り、みんなが安心して通える学校を築くことを大切にしたいです。

<保護者の皆様へ>

体育でプールが始まりました。髪の毛をとかすためにくしを持参することはかまいませんが、整髪料（あほ毛直しも含む）、化粧品等はご遠慮ください。ご理解とご協力をお願いいたします。